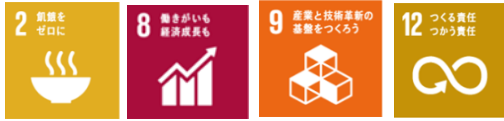


普及現地情報



発信年月日：令和5年(2023年)8月10日
所属名：大津・南部農産普及課
番号：A23010
部門分類：160 果樹、360 6次産業化
発信者名：村井

新規参入法人の管理能力向上のもとで直売所がオープン

「もりやま梨」産地の活性化に向けて、産地の中心である新規参入法人に対し、栽培管理や病害虫管理の支援を行った結果、昨年よりも多い出荷が見込まれる中で「もりやまフルーツランド」のオープンを迎えることができました。

守山市には、「もりやまフルーツランド」という、ナシ（もりやま梨）とブドウで構成された県内有数の果樹産地があります。そのもりやま梨産地活性化に向け、当課はナシ栽培面積の過半とナシ産地全体の防除・販売を担う新規参入法人の栽培管理能力向上こそが産地の力の源泉である考え、管理実態の把握や作業遅れの解消、病害虫の適期防除に関して支援を行いました。

本格経営開始初年度となった昨年度は、栽培面積の急拡大に伴う日々の作業に忙殺され、作業遅れが目立ち、作業実態の把握もできていませんでした。この状況改善のため、事前に、時期・園地・作業別に工程管理表を作成し、適宜その実践状況を確認するとともに、農業日誌アプリを用いたほ場毎の作業時間のデータ蓄積を促しました。

また昨年度に大きな被害をもたらしたシンクイムシ類に対し、同法人を中心とした産地全体での交信かく乱剤の適正使用や、フェロモントラップを用いた発生状況に基づく適期防除の実践を支援しました。

これらの結果、産地全体として昨年以上の収穫が期待できる状況で収穫期を迎えることとなりました。他にも、「滋賀県農山漁村発イノベーションプランナー派遣」の活用によるもりやま梨を用いた新メニューの開発、ナシ新技術・新品種の導入支援等を行っています。今後も関係機関との連携を図りつつ、様々な手段・手法を活用して産地活性化に向けた取組みを支援していきます。



フェロモントラップによるシンクイムシ類防除適期の把握



収穫を間近に控えるもりやま梨



もりやま梨を用いた新メニュー